

資料2. 浄水場・配水場施設の概要

	築比地浄水場					北部配水場		南部浄水場				東部配水場		西部配水場	
通水年月日	昭和49年4月23日					平成22年4月1日		昭和41年2月15日				昭和56年5月22日		平成7年7月1日	
水源	県水、地下水					県水		県水、地下水				県水		県水	
配水能力	44,000m ³ /日					10,000m ³ /日		25,000m ³ /日				26,000m ³ /日		49,000m ³ /日	
規模 (1日最大配水量) (令和2年度実績)	44,560m ³ /日					10,300m ³ /日		22,490m ³ /日				13,230m ³ /日		38,180m ³ /日	
深井戸及び 取水ポンプ	井戸口径 (mm)	深さ (m)	吐出管 口径 (mm)	揚水能力 (m ³ /分)			井戸口径 (mm)	深さ (m)	吐出管 口径 (mm)	揚水能力 (m ³ /分)					
水源番号	1	φ350	360	150	2.0		φ350	300	125	2.0					
	2	φ250~350	250	125	1.5		φ350	300	150	2.0					
	3	φ250~280	250	125	2.0		φ350	300	150	2.0					
	4	φ350	300	150	2.0		φ350	400	150	2.0					
	6						φ350	340	150	2.0					
	9						φ350	300	150	2.0					
ろ過地	型式 ハードインジ型 処理能力6,000m ³ /日×2池							型式 ハードインジ型 処理能力10,000m ³ /日×2池							
配水池	鉄筋コンクリート造り 2池 有効容量 7,500m ³ プレストレストコンクリート造り(PC) 緊急遮断弁付 2池 有効容量10,500m ³					プレストレストコンクリート造り(PC) 緊急遮断弁付 1池 有効容量 6,000m ³		鉄筋コンクリート造り 2池 有効容量6,000m ³ プレストレストコンクリート造り(PC) 2池 有効容量 3,000m ³				プレストレストコンクリート造り(PC) 緊急遮断弁付 2池 有効容量 15,000m ³		プレストレストコンクリート造り(PC) 緊急遮断弁付 2池 有効容量 36,000m ³	
滅菌施設	次亜塩素酸ナトリウムタンク (PE製) 10m ³ 2槽 次亜塩素酸ナトリウム注入機 88L/時 2台 次亜塩素酸ナトリウム注入機 30L/時 2台					次亜塩素酸ナトリウムタンク (PVC製) 0.1m ³ 1槽 次亜塩素酸ナトリウム注入機 150L/時 1台		次亜塩素酸ナトリウムタンク (FRP製) 10m ³ 2槽 次亜塩素酸ナトリウム注入機 270L/時 2台				次亜塩素酸ナトリウムタンク (PE製) 1.0m ³ 1槽 次亜塩素酸ナトリウム注入機 7.85L/時 1台		次亜塩素酸ナトリウムタンク (FRP製) 5m ³ 1槽 次亜塩素酸ナトリウム注入機 48L/時 1台	
凝集剤 注入装置	ホリ塩化アルミニウムタンク (PE製) 1m ³ 1槽 ホリ塩化アルミニウム注入機 3L/時 2台														

資料3. 水質検査頻度（水質基準項目）

◎：月1回、□：年4回、△：年1回

番号	検査項目	水 源	浄水場			配水場	基準 給水栓	管理 給水栓
			原水	浄水	配水	県水・配水		
1	一般細菌	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎
2	大腸菌	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎
3	カドミウム及びその化合物	△	◎	◎	◎	□	◎	□
4	水銀及びその化合物	△	□	□	□	—	□	—
5	セレン及びその化合物	△	◎	◎	◎	□	◎	□
6	鉛及びその化合物	△	◎	◎	◎	□	◎	□
7	ヒ素及びその化合物	△	◎	◎	◎	□	◎	□
8	六価クロム化合物	△	◎	◎	◎	□	◎	□
9	亜硝酸態窒素	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎
10	シアニ化物イオン及び塩化シア	△	□	□	□	—	□	—
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎
12	フッ素及びその化合物	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎
13	ホウ素及びその化合物	△	◎	◎	◎	□	◎	□
14	四塩化炭素	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎
15	1,4-ジオキサン	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎
16	シス-1,2-ジクロロエチレン及び トランス-1,2-ジクロロエチレン	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎
17	ジクロロメタン	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎
18	テトラクロロエチレン	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎
19	トリクロロエチレン	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎
20	ベンゼン	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎
21	塩素酸	—	—	◎	◎	◎	◎	◎
22	クロ酢酸	—	—	□	□	—	□	—
23	クロホルム	—	—	◎	◎	◎	◎	◎
24	ジクロロ酢酸	—	—	□	□	—	□	—
25	ジブromクロロメタン	—	—	◎	◎	◎	◎	◎
26	臭素酸	—	—	□	□	—	□	—
27	総トリハロメタン	—	—	◎	◎	◎	◎	◎
28	トリクロロ酢酸	—	—	□	□	—	□	—
29	ブromジクロロメタン	—	—	◎	◎	◎	◎	◎
30	ブromホルム	—	—	◎	◎	◎	◎	◎
31	ホルムアルデヒド	—	—	□	□	—	□	—
32	亜鉛及びその化合物	△	◎	◎	◎	□	◎	□
33	アルミニウム及びその化合物	△	◎	◎	◎	□	◎	□
34	鉄及びその化合物	△	◎	◎	◎	□	◎	□
35	銅及びその化合物	△	◎	◎	◎	□	◎	□
36	ナトリウム及びその化合物	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎
37	マンガン及びその化合物	△	◎	◎	◎	□	◎	□
38	塩化物イオン	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎
39	カルシウム、マグネシウム等（硬度）	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎
40	蒸発残留物	△	□	□	□	□	□	□
41	陰イオン界面活性剤	△	□	□	□	—	□	—
42	ジェオスミン	△	□	◎	◎	—	◎	—
43	2-メチルイソボルネオール	△	□	◎	◎	—	◎	—
44	非イオン界面活性剤	△	□	□	□	—	□	—
45	フェノール類	△	□	□	□	—	□	—
46	有機物（全有機炭素(TOC)量）	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎
47	pH値	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎
48	味	—	—	◎	◎	◎	◎	◎
49	臭気	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎
50	色度	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎
51	濁度	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎

水
質
基
準
項
目

資料4. 水質検査頻度（水質管理目標設定項目）

◎：月1回、□：年4回、△：年1回

検査項目	水源	浄水場			配水場	基準 給水栓	管理 給水栓
		原水	浄水	配水	県水・配水		
1 アンチモン及びその化合物	△	□	□	□	□	□	□
2 ウラン及びその化合物	△	△	△	△	—	△	—
3 ニッケル及びその化合物	△	□	□	□	□	□	□
5 1,2-ジクロロエタン	△	□	□	□	□	□	□
8 トルエン	△	□	□	□	□	□	□
9 フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	△	△	△	△	—	△	—
10 亜塩素酸	—	—	△	△	—	△	—
12 二酸化塩素 ※1	—	—	—	—	—	—	—
13 ジクロロアセトニトリル	—	—	△	△	—	△	—
14 抱水クロラール	—	—	△	△	—	△	—
15 農薬類	—	△	—	—	—	△	—
16 残留塩素	—	—	◎	◎	◎	◎	◎
17 カルシウム、マグネシウム等（硬度）	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎
18 マンガン及びその化合物	△	◎	◎	◎	□	◎	□
19 遊離炭酸	△	△	△	△	△	△	—
20 1,1,1-トリクロロエタン	△	□	□	□	□	□	□
21 メチル-tert-ブチルエーテル(MTBE)	△	□	□	□	□	□	□
22 有機物等（過マンガン酸カリウム消費量）※2	—	—	—	—	—	—	—
23 臭気強度(TON)	△	△	△	△	—	△	—
24 蒸発残留物	△	□	□	□	□	□	□
25 濁度	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎
26 pH値	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎
27 腐食性（ランゲリア指数）	△	△	△	△	—	△	—
28 従属栄養細菌	△	△	△	△	△	△	—
29 1,1-ジクロロエチレン	△	□	□	□	□	□	□
30 アルミニウム及びその化合物	△	◎	◎	◎	□	◎	□
31 ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)	—	△	—	—	—	△	—

※1 浄水処理において二酸化塩素を使用していないため、検査を省略します。

※2 有機物等については、水質基準項目の有機物（全有機炭素(TOC)量)で代替して実施します。

資料5. 水質検査頻度（クリプトスポリジウム等、放射性物質、その他項目）

◎：月1回、□：年4回、△：年1回

検査項目		水源	浄水場			配水場	基準 給水栓	管理 給水栓
			原水	浄水	配水	県水・配水		
スクロ リプ リジ ウム 等	クリプトスポリジウム及びジアルギア	△	—	—	—	—	—	—
	嫌気性芽胞菌	—	□	—	—	—	—	—
物放 質射 性	放射性ヨウ素131、放射性セシウム134及び137	—	—	◎	—	—	—	—
そ の 他 項 目	アンモニア態窒素	△	□	□	□	□	□	□
	カリウム	△	□	□	□	□	□	□
	硫酸イオン	△	□	□	□	□	□	□
	リン酸イオン	△	□	□	□	□	□	□
	臭化物イオン	△	□	□	□	□	□	□
	電気伝導率	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎

資料6. 検査対象農薬類 (64項目)

番号	項 目	番号	項 目
1	1,3-ジクロロプロペン (D-D)	58	チウラム
3	2,4-D (2,4-PA)	61	チオベンカルブ
4	EPN	62	テフリルトリオン
5	MCPA	64	トリクロピル
7	アセフェート	65	トリクロルホン (DEP)
8	アトラジン	67	トリフルラリン
11	アラクロール	69	パラコート
12	イソキサチオン	71	ピラクロニル
16	イプフェンカルバゾン	72	ピラゾキシフェン
18	イミノクタジン	73	ピラゾリネート (ピラゾレート)
20	エスプロカルブ	77	フィプロニル
24	オキシシン銅 (有機銅)	78	フェニトロチオン (MEP)
26	カズサホス	79	フェノブカルブ (BPMC)
27	カフェンストロール	81	フェンチオン (MPP)
30	カルボフラン	82	フェントエート (PAP)
31	キノクラミン (ACN)	83	フェントラザミド
34	グリホサート	85	ブタクロール
35	グルホシネート	86	ブタミホス
38	クロルピリホス	89	プレチラクロール
39	クロロタロニル (TPN)	91	プロチオホス
40	シアナジン	94	プロベナゾール
41	シアノホス (CYAP)	95	ブロモブチド
42	ジウロン (DCMU)	96	ベノミル
43	ジクロベニル (DBN)	99	ベンゾフェナップ
45	ジクワット	100	ベンタゾン
46	ジスルホトン (エチルチオメトン)	102	ベンフラカルブ
47	ジチオカルバメート系農薬	105	ホスチアゼート
49	シハロホップブチル	107	メコプロップ (MCPD)
50	シマジン (CAT)	108	メソミル
53	シメトリン	110	メチダチオン (DMTP)
54	ダイアジノン	113	メフェナセット
56	ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネート	115	モリネート

(注) 農薬の番号は厚生労働省通知に基づく

資料7. 水質検査体制及び検査方法（水質基準項目）

検査項目		検査体制	検査方法（自己検査）	
水 質 基 準 項 目	1	一般細菌	自己検査	標準寒天培地法
	2	大腸菌	自己検査	特定酵素基質培地法
	3	カドミウム及びその化合物	自己検査	誘導結合プラズマ-質量分析法
	4	水銀及びその化合物	自己検査	還元気化-原子吸光光度法
	5	セレン及びその化合物	自己検査	誘導結合プラズマ-質量分析法
	6	鉛及びその化合物	自己検査	誘導結合プラズマ-質量分析法
	7	ヒ素及びその化合物	自己検査	誘導結合プラズマ-質量分析法
	8	六価クロム化合物	自己検査	誘導結合プラズマ-質量分析法
	9	亜硝酸態窒素	自己検査	イオンクロマトグラフ法
	10	シアン化物イオン及び塩化シアン	委託検査	
	11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	自己検査	イオンクロマトグラフ法
	12	フッ素及びその化合物	自己検査	イオンクロマトグラフ法
	13	ホウ素及びその化合物	自己検査	誘導結合プラズマ-質量分析法
	14	四塩化炭素	自己検査	ページ・トラップ-ガスクロマトグラフ質量分析法
	15	1,4-ジクロロベンゼン	自己検査	ページ・トラップ-ガスクロマトグラフ質量分析法
	16	シス-1,2-ジクロロエチレン及び トランス-1,2-ジクロロエチレン	自己検査	ページ・トラップ-ガスクロマトグラフ質量分析法
	17	ジクロロメタン	自己検査	ページ・トラップ-ガスクロマトグラフ質量分析法
	18	テトラクロロエチレン	自己検査	ページ・トラップ-ガスクロマトグラフ質量分析法
	19	トリクロロエチレン	自己検査	ページ・トラップ-ガスクロマトグラフ質量分析法
	20	ベンゼン	自己検査	ページ・トラップ-ガスクロマトグラフ質量分析法
	21	塩素酸	自己検査	イオンクロマトグラフ法
	22	クロロ酢酸	自己検査	溶媒抽出-誘導體化-ガスクロマトグラフ質量分析法
	23	クロロホルム	自己検査	ページ・トラップ-ガスクロマトグラフ質量分析法
	24	ジクロロ酢酸	自己検査	溶媒抽出-誘導體化-ガスクロマトグラフ質量分析法
	25	ジブromクロロメタン	自己検査	ページ・トラップ-ガスクロマトグラフ質量分析法
	26	臭素酸	委託検査	
	27	総トリハロメタン	自己検査	ページ・トラップ-ガスクロマトグラフ質量分析法
	28	トリクロロ酢酸	自己検査	溶媒抽出-誘導體化-ガスクロマトグラフ質量分析法
	29	ブromジクロロメタン	自己検査	ページ・トラップ-ガスクロマトグラフ質量分析法
	30	ブromホルム	自己検査	ページ・トラップ-ガスクロマトグラフ質量分析法
	31	ホルムアルデヒド	自己検査	溶媒抽出-誘導體化-ガスクロマトグラフ質量分析法
	32	亜鉛及びその化合物	自己検査	誘導結合プラズマ-質量分析法
	33	アルミニウム及びその化合物	自己検査	誘導結合プラズマ-質量分析法
	34	鉄及びその化合物	自己検査	誘導結合プラズマ-質量分析法
	35	銅及びその化合物	自己検査	誘導結合プラズマ-質量分析法
	36	ナトリウム及びその化合物	自己検査	イオンクロマトグラフ法
	37	マンガン及びその化合物	自己検査	誘導結合プラズマ-質量分析法
	38	塩化物イオン	自己検査	イオンクロマトグラフ法
	39	カルシウム、マグネシウム等（硬度）	自己検査	イオンクロマトグラフ法
	40	蒸発残留物	自己検査	重量法
	41	陰イオン界面活性剤	委託検査	
	42	ジエタノール	委託検査	
	43	2-メチルイソプロパノール	委託検査	
	44	非イオン界面活性剤	委託検査	
	45	フェノール類	自己検査	固相抽出-誘導體化-ガスクロマトグラフ質量分析法
	46	有機物（全有機炭素（TOC）量）	自己検査	全有機炭素計測定法
	47	pH	自己検査	ガラス電極法
	48	味	自己検査	官能法
	49	臭気	自己検査	官能法
	50	色度	自己検査	透過光測定法
	51	濁度	自己検査	積分球式光電光度法

資料 8. 水質検査体制及び検査方法（水質管理目標設定項目）

検査項目		検査体制	検査方法（自己検査）	
水 質 管 理 目 標 設 定 項 目	1	アンチモン及びその化合物	自己検査	誘導結合プラズマ-質量分析法
	2	ウラン及びその化合物	委託検査	
	3	ニッケル及びその化合物	自己検査	誘導結合プラズマ-質量分析法
	5	1,2-ジクロロエタン	自己検査	ページ・トラップ-ガスクロマトグラフ質量分析法
	8	トルエン	自己検査	ページ・トラップ-ガスクロマトグラフ質量分析法
	9	フタル酸ジ（2-エチルヘキシル）	委託検査	
	10	亜塩素酸	委託検査	
	13	ジクロロアセトニトリル	委託検査	
	14	泡水クロラール	委託検査	
	15	農薬類	委託検査	
	16	残留塩素	自己検査	吸光光度法
	17	カルシウム、マグネシウム等（硬度）	自己検査	イオンクロマトグラフ法
	18	マンガン及びその化合物	自己検査	誘導結合プラズマ-質量分析法
	19	遊離炭酸	自己検査	滴定法
	20	1,1,1-トリクロロエタン	自己検査	ページ・トラップ-ガスクロマトグラフ質量分析法
	21	メチル-tert-ブチルエーテル	自己検査	ページ・トラップ-ガスクロマトグラフ質量分析法
	23	臭気強度（TON）	委託検査	
	24	蒸発残留物	自己検査	重量法
	25	濁度	自己検査	積分球式光電光度法
	26	pH値	自己検査	ガラス電極法
	27	腐食性（ランゲリア指数）	委託検査	
	28	従属栄養細菌	自己検査	R 2 A 寒天培地法
	29	1,1-ジクロロエチレン	自己検査	ページ・トラップ-ガスクロマトグラフ質量分析法
	30	アルミニウム及びその化合物	自己検査	誘導結合プラズマ-質量分析法
	31	ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS) 及びペルフルオロオクタン酸 (PFOA)	委託検査	

資料9. 水質検査体制及び検査方法（クリプトスポリジウム等、放射性物質、その他項目）

検査項目	検査体制	検査方法（自己検査）
クリプトスポリジウム及びジアルギア	委託検査	
嫌気性芽胞菌	自己検査	ハンドフォード改良寒天培地法
放射性ヨウ素131、放射性セシウム134及び137	委託検査	
アンモニア態窒素	自己検査	イオンクロマトグラフ法
カリウム	自己検査	イオンクロマトグラフ法
硫酸イオン	自己検査	イオンクロマトグラフ法
リン酸イオン	自己検査	イオンクロマトグラフ法
臭化物イオン	自己検査	イオンクロマトグラフ法
電気伝導率	自己検査	交流二電極法